

キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・論述・面接試験 合格体験記

2026年9月5日

2級受検番号 01S3110035 氏名 SR

■2級技能士を目指したきっかけ
キャリアコンとして活動する中で、理論を実務の中で活かしていない、理論を学び直したいと思うようになりました。また、「技能士ですか?」と聞かれることが増え、周囲からその習熟が求められていることなのかもしれないと思ったこともきっかけとなりました。
■当初の勉強法
学科は数冊のキャリア理論のテキスト本を購入し、独学で学びました。実技は実務通りにやってみようと思い、特に試験対策はせずに臨み、力及ばず2回不合格となりました。その後、試験範囲(試験科目及びその範囲並びにその細目)の理解が不足していたことに遅ればせながら気づき、20分という中での実技について、質の高いFBを受ける必要性を感じ、オンラインでのロープレ研修を受講しました。
■合格のきっかけ
学科は初回で、実技は4回目で合格となりました。実技については、お恥ずかしい話ですが、試験として何を確認されるかを理解できていない状態でした。自分のキャリアコンを客観的に指導してもらわなければダメだと思い、オンラインでのロープレ練習を受けました。その中で、自分が「できていること」と「できていないこと」がはっきりしてきたため、できていないこと＝問題把握力の弱さを克服しようと1級キャリアコンサルティング技能士の会のクイックゼミと直前ロープレ練習に参加しました。あくまで「試験」であるため確認されるポイントは抑えつつも、あまりに「試験」を意識しすぎると本来のキャリアコンにはならないと感じ、実技試験では、実際のキャリアコンの場のように目の前のクライアントに寄り添うという姿勢で臨みました。
■学科試験対策
国カリ・2級・1級技能士の過去問3か年分を3回ずつ解きました。間違えた問題は理論の本から知識を得て、時間をおき、正解になるまで解きました。それと並行して厚生労働省から出ている職業能力開発基本計画や能力開発基本調査の内容を確認しました。学科は初回受検で合格を頂くことができました。
■論述試験対策
試験前に、過去問を1時間で書ききる練習を5回ほど行いました。初回から論述は合格点を取れてはいたものの、3回目受験の前に指導を受け、自分の中で答え合わせができて自信を持って臨めたように思います。
■面接試験対策
口頭試問が苦手でしたが、1級技能士の会ロープレ講座のFBで、減点というよりもロープレを補足する加点方式で考えると良いと伺い、少し緊張がほぐれました。そこから、試験範囲を念頭に入れたうえで、口頭試問でCCとして何を伝えていくべきかを考えるようにしました。また、過去の受検結果から、問題把握が弱かったので、ロープレ練習をしていく中で、そこがずれていないかを都度確認をしていきました。直前のロープレ講座で、試験という緊張で自分らしさがなくなっているために、どこかぎこちなさがあることをFB頂いて、自己一致できていない自分に

気づきました。この時に、「できていること」も併せて伝えていただいたので、自分らしいスタイルで臨もうと思うことができました。1級キャリアコンサルティング技能士の会の講師の方達から指導を頂き、キャリアコンとしての在り方を考えることができたことは大きかったと思います。口頭試問込みのロープレ練習&FBでは特に多くを学ぶことができた実感しています。試験対策でありつつ自身のキャリアコンへの気づきや技術向上が感じられて楽しい時間でした。

■受検される方へメッセージ

実技試験で不合格が続き、「キャリアコンに向いていないのでは」と悩んだ日々もありました。しかし、その期間があったからこそ深く学べたことが多くあったと感じています。そして指導を頂く中で「自分らしいキャリアコン」や「自分のスタイルを持つ大切さ」に気づけたことは、大きな財産です。私自身、自分らしさの確立は、まだまだ通過点であり、試行錯誤、模索はずっと続いていくと感じています。試験対策の先にある「相談者の前でどんなキャリアコンでありたいか」というご自身の姿をイメージされながら、合格に向かって歩んでいかれることを心より応援しています！